

2022年度第1回小倉競馬特別レース名解説

<第1日>

○ 呼子特別

呼子（よぶこ）は、佐賀県唐津市の地名。一帯は玄海国定公園で海中公園地区があり、名勝・史跡も多い。呼子湾では、イカをはじめとした漁業が盛んに行われ、朝市には多くの観光客が訪れる。

○ 響灘特別

響灘（ひびきなだ）は、福岡県の北東方、山口県の西方の海域。西は玄界灘に続き、冬季は季節風が強く吹くことから、古来より大陸への重要航路であったとされる。沿岸には古代の遺跡が多く見られ、中国大陸や朝鮮半島との交流が深かったことを今に伝えている。

○ 壇之浦ステーキス

壇之浦（だんのうら）は、山口県下関市の市街地東端、関門海峡の東の海域である早鞆瀬戸（はやともせと）に臨む海岸。源平合戦最後の戦場として知られる。関門トンネル・新関門トンネル・関門橋が集まる交通の要衝で、安徳帝を祀る赤間神宮など史跡が多い観光地でもある。

<第2日>

○ 宇佐特別

宇佐（うさ）は、大分県北部にある市。昭和42年に駅川町、四日市町、長洲町、宇佐町の4町が合併して市制施行。市内には、全国に約4万社余りある八幡宮の総本宮宇佐神宮がある。

○ 小郡特別

小郡（おごおり）は、山口県山口市にある地名。江戸時代には山陽道の宿場町として栄え、昭和50年に山陽新幹線、58年に中国自動車道が開通し、山口県の玄関口として重要な役割を果たしている。

なお、同地にはJRAの場外勝馬投票券発売所であるウインズ小郡がある。

○ 門司ステーキス

門司（もじ）は、北九州市の区。同地区は、九州の北端に位置し、関門海峡を隔て、山口県下関市と相對している。門司港は、国際貿易港として繁栄し、旧門司三井倶楽部や旧門司税関などの歴史的建造物を活かした「レトロの街」としても知られ、北九州市の代表的な観光名所となっている。

<第3日>

○ 萌黄賞

萌黄（もえぎ）は、萌え出た若葉のような冴えた黄緑系統の色。古来より用いられ、平安時代には若者向けの色として愛好された。

○ 鳥栖特別

鳥栖（とす）は、佐賀県東部の市。律令時代は宿駅、江戸時代は長崎街道の宿場町として発展した。現在も九州の交通の要衝として知られ、国道3号と34号線、鹿児島本線と長崎本線の分岐点である。また、市内には国の天然記念物であるカササギの生息地がある。

○ 小倉城特別

小倉城（こくらじょう）は、北九州市小倉北区にある城。慶長7年（1602）に細川忠興が築城した。昭和34年に現在の天守閣が再建され、平成10年には城内下屋敷跡に江戸時代の大名屋敷を再現した小倉城庭園が完成した。桜の名所としても名高く観光地として親しまれている。

<第4日>

○ 八幡特別

八幡（やはた）は、北九州市にある区。昭和38年に八幡市から北九州市八幡区となり、49年に東西に分区した。明治時代に操業を開始した官営八幡製鐵所は、平成27年に世界遺産登録された「明治日本の産業革命遺産 製鉄・製鋼、造船、石炭産業」の構成遺産となっている。

○ 海の中道特別

海の中道（うみのなかみち）は、福岡市東区にある玄界灘と博多湾を区切る砂州。架橋で志賀島と結ばれている。江戸時代に植えられたクロマツによる白砂青松の景勝地で、志賀島とともに玄海国定公園の一部を形成する。国営の「海の中道海浜公園」を始め、水族館「マリンワールド」などがあり、行楽地となっている。

○ 豊前ステーキス

豊前（ぶぜん）は、旧国名で、現在の福岡県東部と大分県北部に当たる地域。また、福岡県東部の周防灘に臨む市。沿岸漁業・海苔の養殖のほか、金属・電子工業などが発達している。内陸では米・果樹・茶などの栽培が盛ん。

<第5日>

○ 牛若丸ジャンプステーキス

牛若丸(うしわかまる)は、源平合戦で大活躍した源氏の武将、源義経の幼名。義経は、壇ノ浦の戦いで敵将平教経と遭遇した際に、舟と舟との間を飛び移ったとされ、その距離が舟八艘分もあったことから「八艘飛び」の名で知られている。

○ 日田特別

日田(ひた)は、大分県西部の市。江戸時代には、日田金で有名な九州の金融の中心地であった。市街を流れる三隅川沿いの水郷地帯は耶馬日田英彦山国定公園に属し、咸宜園(かんぎえん)跡などの史跡も多い。周辺の山地は全国屈指の杉(日田杉)の産地である。また、北端の皿山は小鹿田焼(おんたやき)で知られる。

○ 有田特別

有田(ありた)は、佐賀県西部、有田川の上中流域を占める西松浦郡の町。有田焼の産地として知られ、例年大規模な陶器市が開かれる。有田の陶業は、朝鮮出身の陶工・李参平が17世紀初頭、泉山で良質な白磁鈷を発見し、日本で初めて磁器を焼くことに成功したとされている。

○ 周防灘特別

周防灘(すおうなだ)は、瀬戸内海最西部に位置する水域。山口県南岸と九州北東岸に囲まれ、西は関門海峡で響灘に通じ、東は祝島と国東半島北方の姫島を境として伊予灘に接する。広大な干潟が存在し、貴重な野鳥が数多く飛来することでも有名。

<第6日>

○ 宝満山特別

宝満山(ほうまんざん)は、大宰府市と筑紫野市にまたがる山。別名「竈門山(かまどやま)」「御笠山(みかさやま)」とも言う。古来より神が降り立つ山として崇められ、平成25年には、日本の山岳信仰を知る上で重要な山として国の史跡に指定されている。

○ 平尾台特別

平尾台(ひらおだい)は、福岡県北東部に位置する石灰岩台地であり、日本三大カルストと呼ばれる。国の天然記念物に指定されており、北九州を代表する観光地のひとつとなっている。

○ 巖流島ステーキス

巖流島（がんりゅうじま）は、山口県下関市、関門海峡に浮かぶ船島の別名。宮本武蔵と佐々木小次郎が決闘した場所として有名であり、敗れた佐々木小次郎の流儀「巖流」をとって巖流島と呼ばれるようになった。

<第7日>

○ かささぎ賞

かささぎ（鶺鴒）は、スズメ目カラス科の鳥。佐賀県の県鳥。「カチカチ」という鳴声から、カチガラスとも呼ばれる。日本では、佐賀平野を中心とした地域に生息しており、それらの地は国の天然記念物に指定されている。

○ 角島特別

角島（つのしま）は、山口県下関市の日本海上に浮かぶ島。架け橋である角島大橋は、長さ1,780mの雄大さを誇り、昼間は透明度の高い海と調和した景観を、夜間はライトアップされた幻想的な風景を楽しむことのできる景勝地として知られる。

○ 玄海特別

玄海（げんかい）は、玄界灘に面する地名。リアス式の海岸部は国定公園に指定されている。玄界灘は、対馬海流が流れ、日本近海でも有数の漁場である。西は対馬海峡、東は響灘に連なる。

<第8日>

○ 波佐見特別

波佐見（はさみ）は、長崎県中央部、東彼杵郡の町。波佐見焼の産地として知られている。400年以上の歴史がある波佐見焼は、江戸時代後期には日本一の磁器生産量を誇り、日本の器・食文化の発展に大きな影響を与えた。

○ 由布院特別

由布院（ゆふいん）は、大分県中部、由布市の温泉地。周囲を由布岳や黒岳などの1,000m級の山に囲まれた盆地である。地名の由来は木綿（ゆふ）の産地であったこと、古代に租税を収蔵する倉院が設置されていたことからという説がある。

○ 関門橋ステークス

関門橋（かんもんきょう）は、北九州市と下関市を結ぶ関門自動車道が走る吊り橋。全長 1,068m、幅 26m で桁下は 61m。昭和 43 年に着工し、48 年に開通した。夜には、橋全体に施されたイルミネーションと橋脚部分からのライトアップが見られる。